

危険 喫煙・飲酒・薬物乱用

北崎中学校 一年一組 高井 二瑚

みなさんは、喫煙、飲酒、薬物乱用の危険

性を知っていますか。この三つは人間の体に

悪い影響を与えています。

まずは、喫煙の危険性についてです。たば

この煙にはニコチン、タール、一酸化炭素な

ど、二百種類以上の有害物質が含まれていま

す。これらの有害物質により、たばこを吸う

と、毛細血管の収縮、血圧上昇などのさまざま

まな急性影響が現れます。そして、思考能力

や運動能力の低下などを引き起こします。

依存性のあるニコチンにより、喫煙がやめ

にくくなります。また、喫煙をやめず、長期

間続けてしまうと、肺がんや慢性気管支炎

や、心臓病などの病気にかかりやすくなりま

す。

また、喫煙者より、周りへの被害の方が大

きいのです。そのため、今では公共施設の他

飲食店や会社などの禁煙や分煙が進められて

庭問題や学校の友人の問題など、さまざまなた
 薬物は、人格の形成を強く妨げるため、家
 して、死亡することもあります。脳
 も、呼吸が止まったり、脳の血管が破れたり
 にも大きな影響を及ぼします。一回の使用で
 が、痩せ衰えたり、歯が抜けたりするなど、身体的
 覚や妄想が現れるようになります。また、体
 憂鬱感に襲われます。乱用を繰り返すと、幻
 し、薬が切れると、激しい脱力感、疲労感、
 疲労感がとれたように感じたりします。しか
 覚醒剤を乱用すると、気分が高まったり、
 くなり、てしまいます。気分が高まったり、
 になり、自分の意志ではやめることができな
 あり、乱用を繰り返すうちに薬物依存の扶能
 身に大きな影響を及ぼします。また、依存性が
 また、薬物は脳に直接作用するため、心
 す。覚醒剤、大麻、麻薬、有機溶剤などがありま
 り、医療が目的でない薬物を不正に使用した
 り、することはいけません。乱用される薬物は、

問題を引き起こします。また、幻覚や妄想のために犯罪を起こしたり、薬物を手に入れるために強盗や密売を働いたりするなど、社会全体にも大きな被害をもたらすことがあります。そのため、薬物の乱用は法律で厳しく禁

止されています。私は、飲酒・喫煙・薬物乱用について知ること、危険性も知ると同時に、あることを心に決めました。それは、喫煙と薬物乱用は絶対

しないということとお酒は飲むときはほどほかにするといふこと、世界中の人がみな薬物乱用や、喫煙をせず、飲酒をほどほかにするこゝで、その影響でなくなつてしま

う人がいなくなり、少しずつ世界が変わつていくのではないかと思ひます。